

**製品名: ACVRL1 (9G1) ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe06570**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000
分子量	56kDa

**抗原情報**

遺伝子名	ACVRL1
別名	SKR3; Activin receptor-like kinase 1; ALK-1; TGF-B superfamily receptor type I; TSR-I; ACVRL1; ACVRLK1; ALK1;
遺伝子 ID	94.0
SwissProt ID	P37023
免疫原	ヒト ALK-1 の合成ペプチド

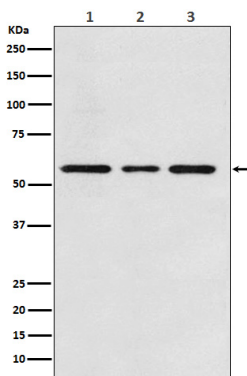
## 背景

リガンドが結合すると、2つのII型膜貫通型セリン/スレオニンキナーゼと2つのI型膜貫通型セリン/スレオニンキナーゼからなる受容体複合体を形成します。II型受容体はI型受容体をリン酸化して活性化し、I型受容体は自己リン酸化した後、SMAD転写制御因子に結合して活性化します。TGF- $\beta$ の受容体です。アクチビンにも結合する可能性があります。TGF- $\beta$ ファミリーのリガンドBMP9/GDF2およびBMP10のI型受容体であり、正常な血管発達の重要な制御因子です。リガンドが結合すると、2つのII型膜貫通型セリン/スレオニンキナーゼと2つのI型膜貫通型セリン/スレオニンキナーゼからなる受容体複合体を形成します。II型受容体はI型受容体をリン酸化して活性化し、I型受容体は自己リン酸化した後、SMAD転写制御因子に結合して活性化します。アクチビンにも結合する可能性があります。

## 研究分野

サイトカイン-サイトカイン受容体相互作用;TGF- $\beta$ ;

## 画像データ



(1) Jurkat 細胞溶解物、(2) マウス腎臓溶解物、(3) ラット腎臓溶解物における ACVRL1 発現のウエスタンブロット解析。